

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第79期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 丸一鋼管株式会社

【英訳名】 Maruichi Steel Tube Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 鈴木博之

【本店の所在の場所】 大阪市西区北堀江三丁目9番10号

【電話番号】 大阪(06)6531 1201

【事務連絡者氏名】 執行役員 経理部長 河村康生

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区京橋一丁目1番1号(八重洲ダイビル内)

【電話番号】 東京(03)3272 5331

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員 東京事務所長 目黒義隆

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

丸一鋼管株式会社東京事務所
(東京都中央区京橋一丁目1番1号(八重洲ダイビル内))

丸一鋼管株式会社名古屋事務所
(名古屋市熱田区千年一丁目2番4号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年8月9日に提出いたしました第79期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

（セグメント情報等）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

（セグメント情報等）

（訂正前）

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,534	3,672	3,496	28,703	-	28,703
セグメント間の 内部売上高又は振替高	30	-	-	30	30	-
計	21,564	3,672	3,496	28,733	30	28,703
セグメント利益	3,468	174	37	3,680	1	3,678

(注) 1. セグメント利益の調整額 1百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第1四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、18,643百万円（前連結会計年度末16,482百万円）であります。

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,534	3,672	3,496	28,703	-	28,703
セグメント間の 内部売上高又は振替高	30	-	-	30	30	-
計	21,564	3,672	3,496	28,733	30	28,703
セグメント利益	3,468	174	37	3,680	1	3,678

- (注) 1. セグメント利益の調整額 1百万円はセグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第1四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、16,508百万円(前連結会計年度末14,271百万円)であります。